

# としま 議会だより

令和2年12月 発行（年4回発行）Toshima Village Council 2020.12 NO.91



▲ ほしのご園芋掘りの様子

**議会だよりの表紙を飾る写真募集中です**

島の風景や行事など魅力ある一枚をお待ちしています。お問い合わせは議会事務局まで

## TOPIX

### ○令和2年9月臨時会

9月11日～9月18日（8日間）

条例の制定・改定 5件

補正予算 7件

契約 5件

権利の放棄 4件

### ○一般質問 2件

・坂元 勇 議員 . . . 2P

・日高助廣 議員 . . . 3P

### ○令和2年11月臨時会

11月2日（1日間）

契約 3件

### ○令和元年度決算審査委員会

・一般会計 . . . 4P～6P

・特別会計 . . . 6P

## 新型コロナウイルス感染防止対策

## 現在と今後の感染防止対策

**○坂元議員** フェリーとしま2において、現在の感染防止対策の状況を伺う。

**○肥後村長** 下り便では中之島、悪石島出港後、名瀬港入港後の3回、上り便では小宝島、諏訪之瀬島出港後、鹿児島入港後の3回、毎航海、定期的に消毒並びに手指消毒液の補充も含め点検を行っている。消毒箇所については、人の手の触れやすい手すりやドアノブ、テレビリモコン等を重点的に拭き取り、消毒を行っている。

**○坂元議員** 平島、悪石島、小宝島での、上り便の乗船券販売は前日となっており、その際に検温をすることにしているが、実際次の日の乗船時には検温してから20時間ほど経過することがある。この件に

関してどのように考えているか。

**○肥後村長** 現在上り便においては、口之島、中之島、諏訪之瀬島の北部3島で乗船当日に検温を実施しているが、南部4島では、切符発売日が前日になっていることから、購入時点での検温にしている。また、南部4島については、北部3島に比べ入港時間が早朝の時間帯であることから、やむを得ず前日検温としている。水際対策の徹底を図る上で乗船当日の検温体制の徹底が求められることから、関係者等の意見を踏まえ検討を進めてきた。最終的には岸壁上の定期船のタラップ手前で検温を実施する方向としている。

**○坂元議員** 船内にサーモグラフィを設置する考えはないのか。

**○肥後村長** 誤作動を起こすことがあり、今のところ設置する予定は考えていない。陸側で安全な形で検温させた方が確実だろうという方向になっている。

**○坂元議員** 検温した際、37.5度以上あった場合に、乗船を拒否したり、自粛をお願いすることになっているが、実際に事例が何件あったのか。またその後の対策をどのように行ったのか。

**○肥後村長** 体温が37.5度以上の旅客に対して、運送約款に規定している「新規感染症の所見がある者」とみなして、乗船をお断りしている状況である。規定に基づき、乗船をお断りした方々については、現在までに8名確認している。乗船地別では、鹿児島から村内向けが6名、村内から鹿児島向けが1名、村内から奄美大島向けが1名となっている。

**○坂元議員** 国のGOTOトラベルキャンペーン実施以降、国全体で感染者や重症者が増えた現実がある中、今後の村の感染防止対策や、経済生活支援の具体的な考えを伺う。

**○肥後村長** 本村において4月に策定した新型コロナウイルス感染症対策行動指針で定めた感染症対

策を緊急事態宣言解除後も取っており、村民への呼びかけは勿論のこと、ホームページを通して、不用不急の来島自粛をお願いしている。一方で来島者の自粛要請は当然に、来島者の減少に繋がり、民宿事業者をはじめ、来島者相手の事業を行っている村民の経済活動に大きな影響が生じることから、村では「新型コロナウイルス感染症対策に伴う生活支援及び経済支援給付金交付要綱」を制定し、村内の民宿業や瀬渡し業、商店、製造業等の関係所に経済的支援として支援金を給付している。合わせて、畜産農業や漁業者の取引価格減少に伴う支援金の給付並びに、村民への生活支援金やマスク消毒液等の支給等を実施している。



坂元 勇 議員



## 社会体育事業

**○日高議員** 社会体育事業が少子高齢化を理由に減少、若しくは成されていない状況があるが、豊かなスポーツの促進また地域の一体感を深めるためにも、実施していくべきではないか。

**○有村教育長** 今後、生涯スポーツとして特定の年齢や性別に囚わられずに、島民全員が楽しめる運動を推進していかねばならないと考えている。それぞれの年代に応じた、ソフトバレーボールやグランドゴルフ、サロン活動の中では体操やストレッチ等が展開されている。しかし、令和2年度では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、地域での社会体育事業を積極的に推進することが難しい状況である。地域の連帯感を深め



日高助廣 議員

るためにもコロナ禍が収まり次第スポーツ推進委員会を中心に、特に高齢者が運動の習慣をつけられるよう、スポーツの紹介や住民課が推進している「運動機能向上教室」等の取り組みと共に、推進していきたい。

**○日高議員** 地域スポーツを活性化して行くうえで、人材育成のためにもスポーツ講習会や指導者資格取得を図る必要があると思うが、どのように考えているか。

**○有村教育長** 指導者の養成・強化で、指導者講習会については、各スポーツ講習会等は、鹿児島市で行われていることが多く、なかなか参加できる機会が少ないのが現状である。指導者の育成も必要ではあるが、今一番必要なことは、やれる種目をみんなで作っていただくという盛り上がり、大切なことだと思える。地域の盛り上がり、いかに高めるかということが重要と考えている。

## 感染症対策・山海留学生の募集

**○日高議員** 学校での新型コロナウイルス感染症発症時に対してのマニュアルを作成しているのか。また、訓練等を実施し、迅速な対応ができる様に取り組んでいるのか。

**○有村教育長** これまでの国や県の通知を踏まえ、十島村教育委員会でも、これまでの対応方針を見直し、今後の学校運営における、新型コロナウイルス感染症の発症時を想定した対応マニュアルを既に作成している。また訓練等については、感染疑い、あるいは感染者が発生した場合には、感染症発症時対応マニュアルに沿って、適時、適切に対応ができる様に、先生方には指導していく予定である。

**○日高議員** 県外からの留学生在が本村へ帰島する際の待機期間の短縮、コロナ禍における山海留学生の募集対応はしっかりとできていくのか。

**○有村教育長** 従来、山海留学生の帰省については、教育委員会

で帰省日は決めず里親及び寮監と留學生保護者の日程調整のうえで帰島することになっている。今年の4月は同等の方法で入島してもらう予定が、新型コロナウイルス感染症が流行し始め、急遽、里親と保護者の了承のもとに、2週間、鹿児島市内のホテルに留學生を留め置き、健康チェックと経過観察を実施した。山海留學生の募集については1年を通して募集しており、年度途中の受入も可能としている。今年については、これまでの留學生の流れと新型コロナウイルスの状況もあるので、県外の山海留學生と同様に、入島2週間以前から健康チェック表を記載してもらい、下見や転入を行う予定である。



〈総務課〉

**問** 指定宿泊施設利用料補助事業について

**答** 当初予想していた財源を大きく超えたため、これまで見直しを図ってきており、これで見直しを落着くの見極めている段階である。座談会で高齢者に対して手厚くできないかという要望もあり、今後様子を見てから判断したい。コロナ禍において、今決断するときなのか検討しているところである。

**問** 地域づくり事業について

**答** 基本方針として人材育成としているが、TV会議を活用し住民と話し合い活動を行っているところもある。当初は運動会の助成も入れていたが、実際には島外者については受け入れを見送るとしているため、できない事業もある。限られた予算の中で今年度できることをしていこうということ各職員にも指示を出している。今後については、11月までにR3年度の概算事業までを出す形で各島に指示している。

**問** 台風10号での情報伝達について

**答** ヘリ到着時間については、役場経由ではなく、直接自衛隊から地元と連絡をしていたことで、地元も役場も混乱していた。県からも一切連絡がなかったため、県へ正しいルートで役場を通して連絡をするよう申し入れをし、やっと統一された経緯がある。村から住民へ連絡する前に、県・国のルートについてもしっかりと確認するよう再度念を押したい。

**問** 緊急時のエリアメールについて

**答** エリアメールについて活用制限はない。防災、消防、訓練で使用して良いとなっている。今回の台風10号では、避難準備情報と避難勧告で2、3回エリアメールを流した。それ以外でどのタイミングで使用するのか、今後検討していくとともに意見を取り入れていきたい。

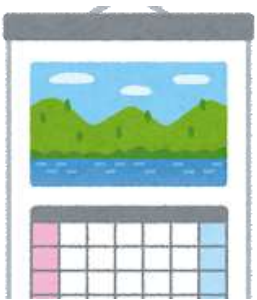
〈地域振興課〉

**問** 婚活支援事業について

**答** 婚活支援事業の方法については意見をもとに今後考えていきたい。定住イベントについては、現在インターネットを紹介して取り組んでいるところである。先日参加した際は、多くの市町村が参加する中で、他の市町村に選択権がいき十島村まで選ばれていかない実状がある。十島村に興味をもつよう課題として取り組みたい。

**問** カレンダー作成について

**答** 作成枚数についてはR元年度と同じ2700部を作成している。住民、職員、関係部署、アイランダー、友好島民の方に配布している。枚数については、2700部におさまるように市内で調整しており余りはでない。



**問** 村営住宅のガス配管の取替について

**答** 腐食していた配管の取替は対応したが、マイコンメーターの取り替えについては、R2年度に住宅整備があることから改めて調査し対応したい。耐用年数よりも短い間に塩害腐食が進んでいることは確認しており建築業者からも聞いています。いただいた指摘も含め、R2年から建築専門の職員が入り、今まで以上に施工業者と連携が取りやすい体制になったことから、協力しながら対策を講じていきたい。

**問** 島あるきマップについて

**答** 島あるきマップの中之島分については、R元年度の事業で既に終わっている。現在崩れて行けない所もあるが、集落の中を歩くパターンのコースも作っており、そこを楽しんでいただく形になる。構成として全体の地図の部分や集落の詳しい地図、主な観光箇所を載せている。今のところ新たに構成することは考えていない。

## 問 輸送コスト支援事業について

**答** 農業関係については、人数の割に補助額が少ない。らっきょう、タンカン、スイートスプリング、バナナなどの輸送を補助している。農業だけで生計を立てるのは難しく、日之出地区においても、一本立ちをしていく中でなかなか推奨できるものがない状況である。宝島ではバナナの生産に一生懸命に取り組んでいただいている。現在推奨作物13品種あるが、村としても各島に適応した生産物を推奨していきたい。

## 問 不用活魚コンテナについて

**答** 不用になったコンテナは、モーターやエンジン等が腐食し全く使えない状況で今回廃棄している。行政報告であった活魚コンテナについては、現在、漁協と地元の漁業者が協力し、個人で簡易なFRPの活魚コンテナを使用して出荷している。



## 〈土木交通課〉

### 問 地籍調査について

**答** H7年の小宝島を皮切りに、H10年から悪石島、中之島、H26年度から口之島の順で事業を実施している。今後の見通しについては、R元年度12月に協議会でも今後の方針として示している。口之島については、あと2年から3年程かかる見通しである。中之島については、今後2〜3か年程で精密な調査を行いたい。R8年頃から平島、R9、10年頃から宝島、その後、諏訪之瀬島に入る計画である。

### 問 支障木伐採事業について

**答** 学校下の通学路、鍾乳洞に行く道路の方、農地のある場所などの伐採を行った。全て終わったわけではなく、女神山付近は巨木で人力では困難な場所

もある。対応困難な箇所も一部残っている。今後、危険箇所があった場合は地元と話しをしながら対応していきたい。地元で対応してもらえないものは伐採してもらおう、もしくは、機械等を使用せず押し倒して朽ち果てるまで放置できるものについては、地元と話しをしながら進めていきたい。



### 問 県管理の防波堤について

**答** 中之島出張所前の道路については、防波堤から3mまでは県の管理、残り1mと側溝が村の管理である。離岸堤については、県の管理になっている。西の防潮堤が新しくなり、道路側の防潮堤については、今の高さで将来的には整備が進むが

かなりの費用がかかることから、事業期間、事業費ともに長くなるのが予想されている。災害等で離岸堤が傾いたりした場合、すぐ報告し情報収集に努めたい。

## 〈住民課〉

### 問 ブロ駆除について

**答** 散布場所やどのように散布すると効果があるか等、地元、現業職とも調整をし、原因を突き止めていきたい。薬品については、天然由来で人体に害の少ない幼虫駆除のベクトバックスを散布する予定であるが、業者とも確認しながら、薬品の選定についても進めていきたい。

### 問 地域自殺対策事業について

**答** R元年度に開始となった事業。「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、地域の自殺対策強化を図ること」が目的であり、住民の異変を察知し、話を聞き、専門機関に繋げるといふ役割のゲートキーパー養成研修を開催した。

## 〈教育委員会〉

### 問 生涯学習事業について

**答** 女性団体を活発化しないことには島の活性化にも支障をきたすと考えられることから、女性団体の研修を計画している。各島2名程度参加しR元年度においては指宿地区の団体と交流している。R2年度は、コロナ感染症対策として、県から講師を招きTV会議で講演を行い、大勢の方が参加され、実のある研修が行われた。他の団体との交流等を行いながら女性団体の活性化を図っていく事業である。

## 特別会計

### 国民健康保険特別会計

### 問 R3年度以降の保険税について

**答** R2年度は県が示す保険税率より村の方が上回っていたため現行どおりとしている。R3年度以降については、過去の医療費や県内の医療費等を加味し算定すると聞いており、まだ予測はできない状況である。

## 簡易水道特別会計

### 問 水質検査について

**答** 水質検査は毎月行っている。検査結果に異常がある場合はすぐに再検査をし、それでも改善しない場合は施設不備などを疑うが、すぐに再検査をして引き続きエラーが出ているところは少ない。水質検査の結果は毎月出張所に送っているので確認は可能である。

### 問 漏水探知機の買い替えについて

**答** 現在の漏水探知機は素人では扱いが難しいものであり、業者に問い合わせ、簡単に扱えるものの情報を得たいと考えるが、専門的すぎるので、なかなか扱えないようなものであれば、情報を得て検討したい。

## 船舶交通特別会計

### 問 荷役車両について

**答** フォークリフトの状態は、港の状況や環境で傷みが激しくなると思うが、整備工場からの指摘はここ数年ない。管理については、荷役会議で常に伝

えてはいるが、会議や議会後にも改めて管理徹底について伝えていきたい。

## 介護保険特別会計

### 問 高齢者の食生活支援について

**答** R2年度から後期高齢者医療の事業で一体化事業が始まっている。分析し、低栄養の方については重点項目として看護師と保健師がチームとなって指導する対策をとっている。データを基に保健指導等行う計画を立てていく予定である。



## 後期高齢者医療特別会計

### 問 特定健康診査について

**答** 75歳以上の高齢者を対象とした健診である特定健診の項目と大差はないが、腹囲測定だけが除外されている。受診率

については、長寿健診は、特定健診と比べ、医療的な介入に移行されている方が多いので強制力は求められていないものになる。十島村の住民においては、診療所も受診されつつ、健診も受診しているため、データが反映されてくるので、受診率がとても良い状況にある。

## へき地診療所運営事業 特別会計

### 問 ジェネリック医薬品について

**答** 毎年年度末において、診療所の薬剤管理を行っている諏訪之瀬島の看護師と、鹿児島赤十字病院、県立大島病院のドクターと話をして新たに認定されたジェネリック医薬品を取り入れている。村では認定されたものはほとんど使われている状況でジェネリック医薬品は約75%をしめている。



## 十島村議会 令和2年9月臨時議会 議決結果 21案件を審議 全て全会一致で原案の通り可決しました

開催期間	9月11日～9月18日（8日間）	
審議した案件	村長提出議案	21件
可決・採決状況	原案可決	21件
可決した主な議案	・ 条例制定、改正について（5件） ・ 令和2年度補正予算について（7件） ・ 契約の締結について（5件） ・ 権利の放棄について（4件）	

## 条例の制定・改正

## ○十島村インフルエンザ予防接種手数料の特例に関する条例制定

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、全住民がインフルエンザワクチンを接種できる環境を整え、感染防止及び重症化予防を図るため、手数料徴収条例第2条第1項第37号に規定する「インフルエンザ予防接種手数料」を令和2年10月1日から令和3年3月31日まで、無料とする特例条例を制定するもの。



## 契約

## ○令和2年度フェリーとしま2第一種中間検査及び一般工事請負契約の締結

契約目的：令和2年度フェリーとしま2第一種中間検査及び一般工事

契約金額：101,405,700円

契約相手：鹿児島ドッグ鉄工株式会社 代表取締役社長 野元 達美  
（令和2年8月28日、仮契約）

工事内容：船舶安全法の規程により実施する検査工事・不具合、消耗に対応する一般工事

## ○東之浜港改修工事（3工区）（4工区）（1工区）の工事請負変更契約の締結

## ○小宝島港泊地浚渫工事請負変更契約の締結について

契約目的：小宝島港泊地浚渫工事

契約金額：148,680,000円

契約相手：竹山建設株式会社 代表取締役 竹山 博昭  
（令和2年8月21日、仮契約）



▲平島東之浜港の様子

## 諮問

## ○人権擁護委員候補者の推薦について

令和2年12月31日付け任期満了となる人権擁護委員の候補者の推薦について議会へ諮問されました。候補者については、村議会議員や国民健康保険運営協議会委員等を歴任され、平成23年から十島村人権擁護委員をされており、候補者として申し分ない旨、答申しました。

候補者 氏名：山木 保（諏訪之瀬島）

## 発議

## ○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の発議

## 令和元年度決算

- 令和元年度十島村一般会計歳入歳出決算認定について
- 令和元年度十島村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 令和元年度十島村船舶交通特別会計歳入歳出決算認定について
- 令和元年度十島村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 令和元年度十島村簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
- 令和元年度十島村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 令和元年度十島村へき地診療所運営事業特別会計歳入歳出決算認定について

## 令和2年度補正予算

- 国保特会 補正第1号 +2,271→237,626千円
- 船舶特会 補正第1号 +5,326→1,087,342千円
- 介保特会 補正第1号 +7,605→95,469千円
- 簡水特会 補正第2号 +866→142,016千円
- 後期特会 補正第1号 +1,290→24,535千円
- 診療特会 補正第2号 +1,535→222,373千円
- 一般会計 補正第5号 △377,820→6,885,993千円

## 議決結果（11月臨時会）

### 十島村議会 令和2年11月臨時議会 議決結果 3案件を審議 全て全会一致で原案の通り可決しました



▲中之島豪雨災害の様子

開催期間	11月2日（1日間）
審議した案件	村長提出議案 3件
可決・採決状況	原案可決 3件
可決した議案	・契約の締結について（3件）

- 中之島道路災害復旧工事（R2-1工区）の工事請負契約の締結
- 中之島道路災害復旧工事（R2-5工区）の工事請負契約の締結
- 中之島道路災害復旧工事（R2-6工区）の工事請負契約の締結

6月の梅雨前線豪雨で被災した村道の災害復旧について、国庫負担法に基づく災害査定で、9月上旬に採択し、事業の執行を進めており、今回、契約の準備ができたことにより、提案するもの。

## 9月、11月議会ライブ中継視聴者数

島名	9/11	9/14	9/15	9/18	11/2	計
口之島	※	0	1	0	0	1
中之島	3	1	4	2	2	12
諏訪之瀬島	1	1	0	0	2	4
平島	2	1	2	2	1	8
悪石島	4	2	2	2	2	12
小宝島	※	※	※	※	1	1
宝島	3	4	2	1	2	12
計	13	9	11	7	10	50

※インターネット不調による中継不可

議事録

委員 坂元 勇  
委員 日高 助廣  
委員 日高 久志  
委員 岩下 正行  
委員 土岐 純郎  
副委員長 永田 和彦  
委員長 田中 秀治

議会広報調査特別委員会

議長 前田 功一

今回の議会だよりは、2名の議員の一般質問と決算委員会のまとめを中心に編集しています。9月、11月の議会ライブ中継視聴者数は右のとおりです。ぜひ多数の視聴をお待ちしています。

### 編集後記